

姿を利用したファッションコーディネート支援システムの開発 —実際に着たイメージで手軽にコーディネート—

1. 背景

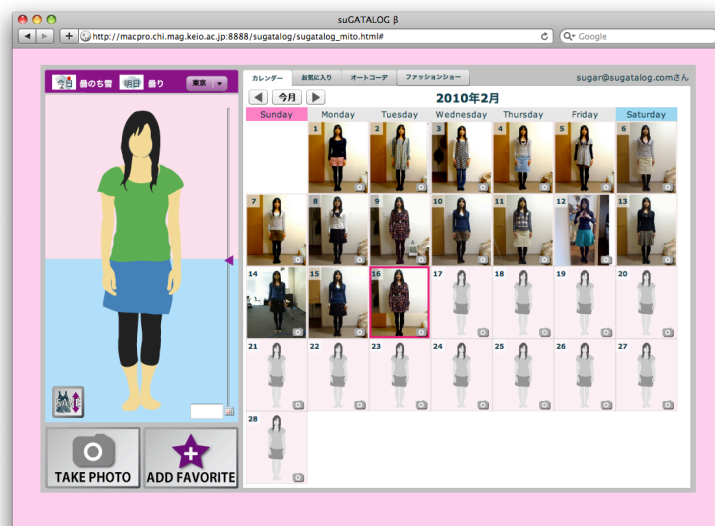
服装選びは、私たちが毎日のように行う行為である。その日何を着るかを決定するまでには多くの過程がある。まず第一に、その日の条件を考慮して服を選ぶ。たとえば、その日の天気や気温、その日何を行うか、どこへ行くか、誰と合うか、前回その人と会ったときに同じ服を着ていなかったか、などである。そしてそれらのことを考慮した上で服を選び、服が自分に合うか鏡の前で合わせてみる。しかし、実際に着てみると服の形や長さなどが自分の思っていたイメージと異なることがある。そのような場合、再び違う服を選び、納得するまで、あるいは時間が許す限りこれが繰り返される。さらに、何パターンか着ていると次第にどれが一番良かったか分からなくなってしまふ。特に女性は所有する服が多く、服の選択肢が多い。出かける前の準備は服装選び以外にも化粧、髪セット、など多くあり、時間があまりない。そのため、服装を選ぶことに割く時間があまりなく、自分の中で「このコーディネートは無難である」と思っている服を着がちになる。つまり、自分の持っている服の一部ばかりを着がちになり、所有する服を活かすことができていない。既存のシステムでファッションコーディネート支援するものはいくつかあるが、それらはいずれも服だけの写真によるコーディネートであったり、バーチャルなアバターに服を着せるなど、自分が着用したイメージが湧きづらい。

2. 目的

そこで、本プロジェクトでは、自分が着用したイメージで手持ちの服を活かすことのできるファッションコーディネート支援システム：suGATALOG（スガタログ）の開発を目的としている。

3. 開発の内容

suGATALOGは身だしなみを鏡で確認するタイミングを利用して、日々の自分の服装の写真を撮影し、それらの写真を合成することでパソコン上でコーディネートを行うシステムである。撮影した写真はアプリケーション上でカレンダー状に表示され、トップスとボトムスの二枚に切り分けて合成することで、着替えることなく手持ちの服のコーディネートを行うことができる。



suGATALOGメイン画面の様子

撮影システム



ウェブカメラで撮影する様子(左)/携帯のカメラで撮影する様子(右)

まず、アプリケーションの撮影画面で、部屋に設置したウェブカメラから服装の撮影を行う。または、携帯電話のカメラから写真を撮影し、ユーザごとに割り振られたメールアドレスに画像を添付して送信する。撮影した写真はアップロードされる。

カレンダー機能と試着室機能



カレンダー機能 (左) /試着室機能(右)

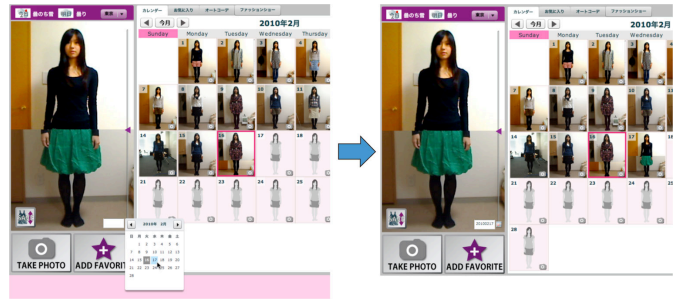
アップロードされた写真は上図のようにカレンダー状に並ぶ。それぞれの写真はトップスとボトムスの二枚に切り分けられている。カレンダー上の写真の上半分をクリックするとカレンダー横の「試着室」のトップスがそれに変わる。ボトムスも同様である。それぞれの服のトップスは着丈位置が違うため、それをスライダーで調節して保存を行う。

お気に入り機能とコーディネートプラン機能

試着室上でコーディネートをした状態で「ADD FAVORITEボタン」を押すと、試着室に表示されているコーディネートがお気に入りに追加される。また、複数のコーディネートを並べて比較したいときにも利用できる。未来に「この服を着たい」と思ったときに、試着室の右下にあるカレンダーから日付を選ぶと、試着室に表示されているコーディネートが指定した日付に登録され、今後のコーディネートのプランを立てて行くことができる。



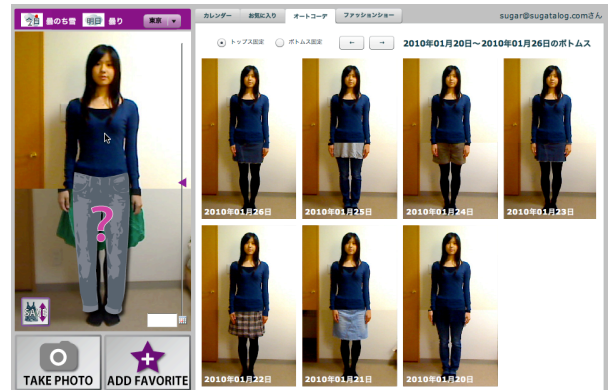
お気に入り機能



コーディネートプラン機能

オートコーディネート機能

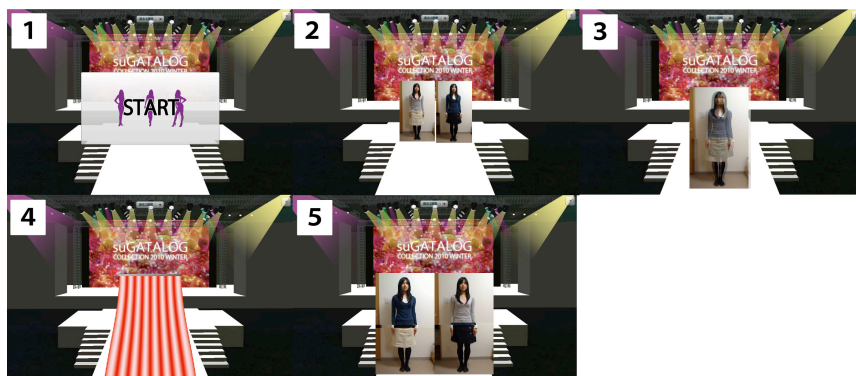
服を決めるとき「この服は絶対に着たい」など、片方だけ着る服が決まっている場合がある。そのようなとき、着たい服を試着室に表示させた状態でその服の上をクリックすると、その服に合わせたコーディネートが表示される。右図の例は、青いセーターを固定した状態でオートコーディネートを行った場合の例である。



オートコーディネート機能

ファッションショー機能

これらの機能を用いて、手軽にいくつものコーディネートを行うことができる。しかし、自分の中で「この服とこの服とは合わないだろう」という固定概念があり、試さないコーディネートもある。そこで、ファッションショー機能では、今まで着た服を振り返るとともに、見ていだけで勝手にコーディネートが行われ、今まで自分ではしたことのないコーディネートが閲覧することができる。スタートボタンを押すと今まで着た服の写真がランダムでステージ上に現れ、それらが重なりあって服が入れ替わり、次々とコーディネートを眺めることができる。



ファッションショー機能

suGATTER機能

suGATALOGでは、写真がカレンダー状に並んでいるが、カレンダーを見るだけではその日何をしたか思い出しにくい。「Twitter表示ボタン」をクリックすると、自分

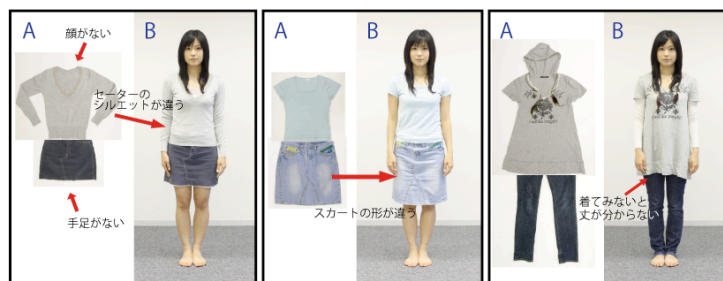
のtweetした発言がその日のカレンダー上を流れる。Twitterと連携したことで、ユーザはsuGATALOG用に日記を書かなくてもその日の行動が分かる。



suGATTER機能

4. 従来の技術との相違

既存のファッションコーディネート支援システムは、服だけの写真を用いたり、アバターなどのバーチャルなものを用いてコーディネートを行っている。suGATALOGはユーザが着用した際の「姿」でコーディネートを行っているため、実際に着用したイメージが湧きやすい。下図からも、服だけの写真でコーディネートした場合と、実際に着用した場合とでイメージが大きく異なることが分かる。



服でのコーディネートと姿のコーディネートとの比較

5. 期待される効果

本システムでは、いつどのような服を着たかが分かるとともに、現在自分の所有している服の中から、今まで試した事ないような新しいコーディネートを手軽に試すことができる。このシステムを用いることで、ユーザは所有する服を今まで以上に活かすことが期待される。

6. 普及の見通し

システムへの利用ニーズは高いため、今後はさらに使いやすい設計をするとともに、セキュリティ面でも強化を行い、より多くのユーザの利用を目指したい。

7. クリエータ名 (所属)

佐藤 彩夏 (慶應義塾大学 環境情報学部)

関連URL

<http://sugatalog.com/>